市指定文化財<史跡>

神尾城跡（かみおじょうあと）

指定日　昭和49年4月1日

所在地　菊池市七城町水次　上水次

水次（みつぎ）橋を渡って右、集落へ300mほど進むと、集落の東端に小高い丘があってそこに碑が建っている。城跡は丘陵末端部の古墳だが、破壊されたものと思われ、現在は阿蘇三社宮の敷地となっている。

境内の一画に円墳があり、赤色顔料の残る安山岩板石が見える。

この城は山城形式のもので別名水次城ともいい、水次氏代々の居城とも、村上外記（げき）の城跡ともいわれている。

水次の集落には土塁を伴った通路が残されていて、地形的にも単に古墳の城跡だったという類のものではないと考えられる。東より北にかけて幅10m前後の空堀状の地形が見られる。また周辺には五輪塔の残欠が集積されている。

この城は、台（うてな）城の後方にあって、一つには台城の援護、一つには第一線防御に対する予備としての任務を持っていたと考えられる。